

**ALESIS®**

**M I A C T I V E M K 3**

ユーザーガイド

## 安全にお使いいただくために

### この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。

このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。

このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。



- 注意事項を読んでください。
- 注意事項を守ってください。
- すべての警告に従ってください。
- すべての注意事項に従ってください。
- 水の近くで使用しないでください。
- お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
- 取扱説明書に従って設置してください。
- 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
- 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
- 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
- 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
- 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。

- 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
- 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
- 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低15センチ離し、風通しの良い場所をご利用ください。
- 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
- 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
- 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://www.alesis.jp/>

**ALESIS®**

<お問い合わせ>

inMusic Japan 株式会社  
カスタマー・サポート部  
〒106-0047 東京都港区南麻布 3-19-23  
オーク南麻布ビルディング 6階  
TEL: 03-6277-2231 FAX: 03-6277-0025

## ユーザーガイド

### はじめに

#### 同梱物

M1 Active MK3

電源ケーブル

ユーザーガイド

### サポート

製品の最新情報（システム要件、互換性など）、および操作方法や修理などにつきましては、Alesis のホームページをご覧ください

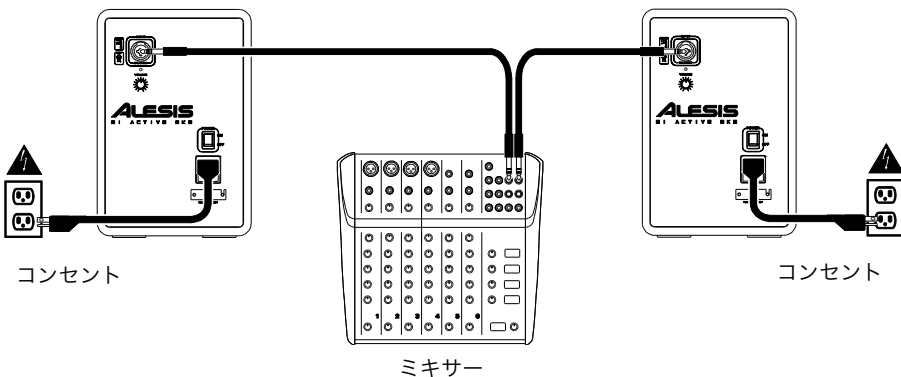
<http://alesis.jp/support/>

### セットアップ

同梱品にないものは全て別売です。

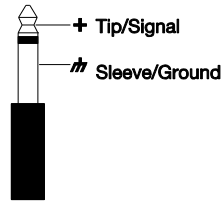
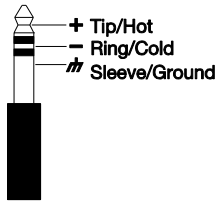
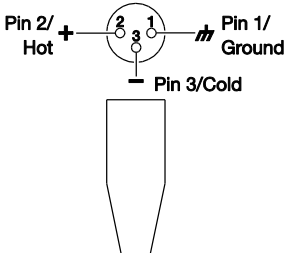
1. ボリュームが下がっている事をご確認ください。
2. リアパネルにある入力端子にサウンドソースを接続します。（オーディオインターフェース、ミキサー、その他）そして、オーディオソース側の電源をオンにします。
3. リアパネルにある AC インレットに付属 AC コードを接続します。そして AC コードのプラグをコンセントに接続します。
4. リアパネルの電源スイッチをオンにします。
5. ボリュームを調整してください。

### 接続例



## コネクター

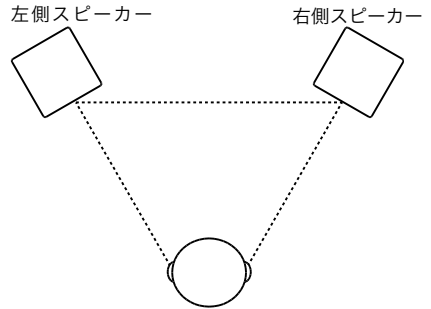
もし XLR や 1/4" (6.35mm)TRS もしくは TS ケーブルを自作される際は、下記の結線図を参考におこなってください。



## スピーカの配置

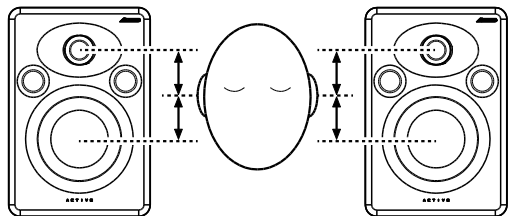
基本的に左右のM1 Active MK3 とリスナが逆三角形を描くように配置します。右の図を参照してください。スピーカの正面を少しでも内側に向けてウーファとツイータがリスナの方を向くように角度を付けます。

通常、M1 Active MK3 は一番近くにある壁、天井、その他の大きい平面から30センチ以上離れた場所に配置します。



## スピーカの高さ

スピーカは水平に、ウーファとツイータの中間がリスナの耳の位置になるように左右のスピーカを配置します。

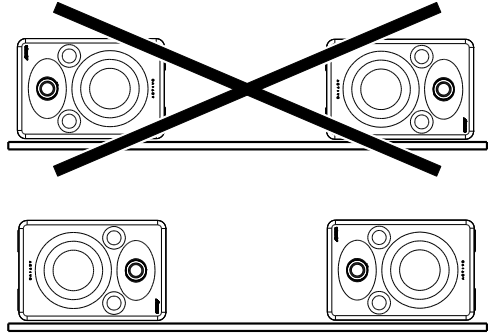


ツイータとウーファの中間

## スピーカーの位置

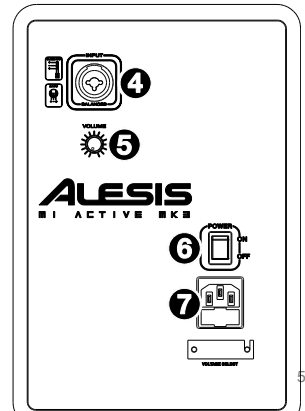
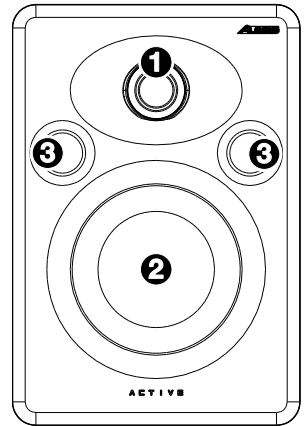
M1 Active MK3 は立てて配置してください。横向きに配置することはお勧めできません。M1 Active MK3 のウーファとツイータは縦に配置された時、最大の性能を発揮します。横向きに配置すると、スピーカーの近くにある平面からの反響が強くなり、スペクトル的にアンバランスなサウンドになります。

スペースや視野の関係でM1 Active MK3 をどうしても横向きに配置せざるを得ない場合、下図のようにツイータが両方のスピーカーの内側に来るように配置するとイメージングが改良します。



## フロントパネル

1. **ツイータ:** 高域のオーディオ信号を出力するドライバーです。
2. **ウーファ:** 低域のオーディオ信号を出力するドライバーです。
3. **パスレフポート:** このポートは低周波信号を増加させ、再生される音の低音レスポンスを向上させます。このポートを塞がないようにします。
4. **インプット端子:** オーディオインターフェースやミキサーなどを XLR もしくは標準 1/4" TRS または TS ケーブルで接続します。
5. **ボリューム:** このノブでモニターボリュームを調整します。ペアでご利用される場合は、2台のボリュームを同じ設定にします。
6. **電源スイッチ:** このスイッチで電源のオン/オフをします。
7. **電源差込口:** 付属 AC コードを接続します。



## 付録

### 技術仕様

周波数特性	45 Hz – 22 kHz
出力	65W (40W LF, 25W HF) Class A/B
低域用ドライバー	5 インチ / 127 mm; アルミニウム
高域用ドライバー	1 インチ / 25 mm; シルク ドーム
オーディオ入力	1 コンボ XLR-1/4 インチ (6.35 mm) TRS
電源	100–120/220–240 V ~ 50/60Hz
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高)	183 x 216 x 267 mm
重量	5.49 kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

### 商標およびライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。  
 その他すべての会社名または製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

**alesis.jp**